

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第18回

秋田代協

資質の向上や損害保険の普及などを目指し積極的に活動を

一般社団法人秋田県損害保険代理店賠償に関するセミナーも毎年定期的に行っており、常に最新の情報を会員に伝えています。支店の3支部で組織されており、令和3年1月時点で正会員89店が加入しています。私たち秋田代協では、毎年5月の総会や1月の新年互例会等でのセミナー、各支部が主催するセミナー等を開催し、お客様本位の保険代理店としての資質の向上や損害保険の普及などを目指し日々活動しています。

秋田代協では活動の柱の一つとして様々なセミナーを開催しています。過去の開催例としては、改正保険業法施行以前から最新のこの法律に関する情報を会員に向けて発信し、さらに代理店目録での対応をテーマにしたもの、監査をする側からみた体制整備をテーマにしたものなどの、実際の代理店経営に直接役に立つセミナーを開催しました。

また、損保協会や各保険会社とも密接に情報交換をするほか、保険会社から講師をお招きし、会社経営に必須のBCPや働き方改革に関するセミナーに関するさまざまな情報をお伝えしています。サイバーセキュリティに関する情報は秋田県警察サイバー犯罪対策課から講師をお迎えして「サイバー犯罪・サイバー攻撃の現状」というテーマでのセミナーも開催しました。

CSRに関する事業として、世界自然遺産「白神山地」の保全活動を行っているNPO法人白神ネイチャー協会の法人会員として毎年の植樹活動などを行



っています。他にも、各支部でのセミナーや会員相互の交流にも力を入れており、チャリティーパーティー等の懇親を深める場も設けています。そして、高齢化率の全国一高い秋田県において、秋田県警察本部・秋田県・日本損害保険協会東北支部・秋田代協の四者にて「シルバーセーフティーサポート協定」を締結しました。この協定は、高齢者の交通事故防止だけではなく犯罪被害防止等の高齢者の安心安全に関する内容が盛り込まれた総合的な内容となりました。私たち保険代理店はお客様に近い距離で活動していることもあり、この四者でのさらなる連携で高齢者事故等の減少に寄与できるよう取り組んでいます。

現在は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により例年通りの活動が制限されています。しかし、令和3年1月にはオンラインセミナーを開催するなど、この大きな変化が加速度的に起こり続ける現代においても、持続的に保険代理店を発展させる一助となるよう、引き続き積極的に活動を続けてまいります。